



夏のオススメ本紹介

YA担当より

暑い夏は外で体を動かしたり、野外イベントもいいですが、涼しい場所で読書なんて最高ですね。夏休みの宿題の合間や、宿題が終わった後のお楽しみに、こんな本はいかがですか？ヤングコーナーに足を運んで、お気に入りの一冊を見付けるのも素敵ですね。

- ①
「3匹のかわいいオオカミ」
ユージーン・トリビザス／文
ヘレン・オクセンバリー／絵
こだま ともこ／訳
富山房
YA書架 Eオ



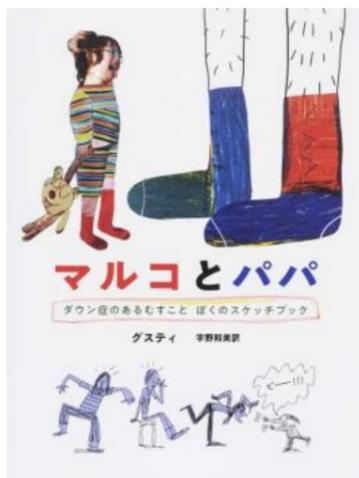
3匹のかわいいオオカミのきょうだいは、家を出て自分たちだけで家を作るよう、お母さんから言われました。そしてお母さんは「わるいおおぶたには気をつけるのよ」と注意もしました。

オオカミ3きょうだい家が建てると、おおぶたがやってきて…

童話『3匹の子ぶた』の素敵なパロディです。オオカミ3きょうだいVSおおぶたの結末やいかに…！？



- ②
「マルコとパパ
ダウン症のあるおすこと
ぼくのスケッチブック」
グスティ／作・絵
宇野 和美／訳
偕成社
YA書架 378 グ



グスティは、ダウン症を抱えたマルコがうまれて、最初は受け入れられずに、困惑します。

最初から受け入れた母親のアンヌ、どんなおとうとだってせかいいちのおとうとだからいいよ、と言った兄のテオ。次第に、グスティもこのままでこの子はいいんだと思うようになっていきます。「うけいれる」とは、どういうことか？障害をもった子どもと歩んでいく父親の気持ちが、ストレートに伝わってくるおはなしです。



- ③
「14歳、思春期バトル」
田上 藍／著
築地書館
YA書架 913 タ



誰もが人生の中で経験する思春期。

そんな思春期に、親や学校の先生、友達、さらには警察官…など身の回りのたくさんの人とぶつかっていく、主人公藍の波乱万丈なストーリーです。

また、筆者自身でもある藍がそれらの経験から学んだことや、今思うことも同時につづられています。

読んだらきっと「その気持ち分かるなあ」と共感しスカッと爽快な気分になる、そんな一冊です。



- ④
「幸福と不幸」
フリジット・ラベ／著
ミシェル・ピュエシュ／著
西川 葉澄／訳
汐文社
YA書架 151ラ



あなたは「幸福」とはなにか、考えたことがありますか？健康でないとき、お金がないとき、うまくいかなかったり、チャンスを逃したとき…「不幸」は、すぐに思いつくことができるかもしれませんが、その逆が必ずしも「幸福」とは限りません。

この本には、「幸福と不幸」について考えさせられるエピソードがたくさん出てきます。

自分にとっての「幸福」を見つめなおしてみませんか？

